

伊勢一音無山～伊勢誕生物語で最も聖なる山～

お伊勢参りといえば、外宮と内宮。とりわけ内宮の人気は圧倒的だ。

しかし、伊勢誕生物語で最も重要で、聖なる山が音無山であることが、人々の記憶から失われようとしている。

音無山は、天孫降臨の際、ニニギノミコトを導いたとされる猿田彦大神が鎮座した聖なる山だ。

そして、三種の神器をたずさえ、伊勢にたどりついた倭姫が最初に登った山である。この山で倭姫は禊を行なった。ここから、身を清めた倭姫は、現在の伊勢内宮へとたどりつく。内宮も外宮も存在していない原初の伊勢で、最も神聖なる場所は音無山だったのである。

聖なる祭り神嘗祭は、倭姫が伊勢にたどり着いた旅路を再現する順序で執り行われる。

音無山での禊をあらわす「興玉神祭」から幕を開けるのだ。

音無山・・・それは伊勢の入り口であり、神宮始まりの場所。この音無山に、今、織田信長の居城であった安土桃山城の原寸大の再現城が建っている。なぜ信長の城がここになければならないのか。

日本誕生と伊勢のルーツに迫る歴史絵巻が
HEAVENESEのエデュテイメントによって
今解き明かされる!

Edutainment @ education + entertainment

エデュテイメント(edutainment)とは、娯楽(entertainment)でありながら、教育(education)になるエンターテインメントのことを意味している。HEAVENESEが主催するエデュテイメントは、外務省が後援するBRIDGEと呼ばれるイベントで、HEAVENESEの音楽と、まるで『講師』のようだと言われる座長マレのドキュメンタリー・トーク、そしてコントやスキットによる笑い、さらには、涙が溢れる感動秘話などの要素が複合的にからみあい、ドラマチックな歴史絵巻として展開するプログラム。毎回各国大使がこぞって来場する人気イベントだ。

満を持して、BRIDGEが音無山にやってくる! 学校では教わらない隠れた歴史のヒーローや、時事問題など、取り上げられるテーマは幅広く、楽しみながら歴史/社会、そして道徳などを学習できる全く新しいタイプの教養ライブとして人気があがっています。



2012年、シーラ・Eが主宰する
Stilettoflats Musicより米国デビュー。

グラミー賞8回受賞のゴスペルレジェンド
故アンドレ・クラウチがプロデュースを
手掛けた唯一の日本人エデュテイメント
一座。



日米での活動のみならず、自爆テロが相次いでいた中東エルサレムで平和公演、アフリカはエチオピアの世界遺産『ラリベラ』で世界初の公演、エチオピアと敵対していた独裁国家エリトリアからも招聘を受け、日本人初のバンドとして、日本とエリトリア友好の架け橋となるべく公演を行うなど、音楽外交使節団として世界を股にかけて活躍中。

<http://HEAVENESE.jp/>

HEAVENESE

ヘヴニーズ



SYMBORISEに
込められた思い

SymboriseとはSymbol(象徴)がRise(上)を意味する造語だ。

10月22日、世界に向けて、新天皇即位を宣明する「即位礼正殿の儀」が執り行われる。日本国民統合の象徴が、世界に対しては平和のSymbolとして、夜明けの太陽のように上り(Rise)、日本が、分断された世界の融和の象徴となることを願う。